

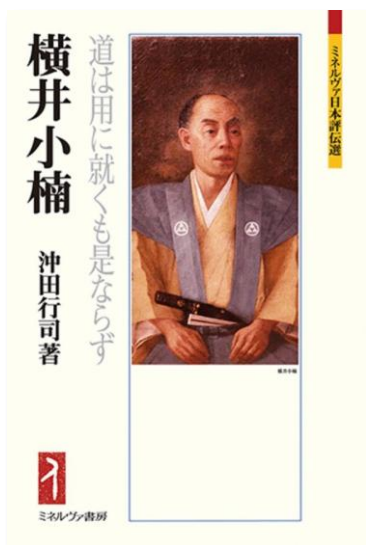
～本との出会い・人との出会い・学びとの出会い～

学長 沖田 行司

英雄たちの選択－横井小楠



NHKBSの教養番組の一つに「英雄たちの選択」という番組がある。日本の歴史を作ってきた偉人の思想を取り上げて、映像化するものである。2026年3月にNHKから横井小楠についてのインタビューの申し入れがあった。横井小楠については何十冊もの書物が刊行されている。私も2021年にミネルヴァ書房から人物評伝『横井小楠』を出版した。私の小楠研究は、大学の卒業論文で取り上げたものが「パイディア」という雑誌に活字化されて以来、ほぼ半世紀にわたっている。その一部は中国語や英語やドイツ語に翻訳されて、それぞれの国の学会誌にも紹介されてきた。ほどなくして、NHKのディレクターから私の書物に基づいて番組を作成したいとの連絡があった。横井小楠は肥後熊本藩では冷遇されたが、その名声は吉田松陰や勝海舟、坂本龍馬、西郷隆盛、岩倉具視など、幕末・明治維新に活躍した人々には高く評価されていた。小楠は、血統によって君主に就く血統論を否定し、一人の意見で物事が決まる政治ではなく、年齢や身分に関係なく、有能な人々が議論して公論を決める政治を主張した。また開国にあたっては、富国強兵にとどまらず、世界から戦争を無くすという「大義」を世界に向かって宣言する機会にせよとも論じた。肥後熊本藩では平民身分に落とされていた小楠を明治維新政府の要人に抜擢したのは岩倉具視である。明治2年に御所からの帰途に暗殺され、忘れ去られた思想家となっていた。



△沖田行司著『横井小楠』,ミネルヴァ書房



BSNHKの番組「英雄たちの選択」にて
5月下旬～6月上旬に放送されました！



略 歴

沖田 行司（おきた・ゆくじ） 博士（文化史学）

同志社大学大学院 博士課程を修了し1979年、同志社大学に奉職。

専任講師、助教授を経て1990年、教授に就任し社会学部長や大学院 社会学研究科長などを歴任。その間、ハワイ大学や中国人民大学の客員教授、また京都大学大学院 教育学研究科の嘱託講師などを兼任。2019年、同志社大学を勤続40年で定年退職。同志社大学 名誉教授。その後も執筆や講演など様々な活動を続け、2020年4月からは現職として現在に至る。『新訂版 日本近代教育の思想史研究』（学術出版会 2007年）や『日本国民をつくった教育 ～寺子屋からGHQの占領教育政策まで～』（ミネルヴァ書房 2017年）など著書多数。

卒業生からのエール

『図書館・・・私の一番好きだった場所』

教育福祉学部 子ども学科
2024年度卒業生

市岡 宇哉

私は、愛知県の小学校教諭として働いています。日々子どもたちと関わる中でも大学の図書館でのことが活かされています。

その中でも強く心に残っているのは、大学図書館で出会った人や本の存在です。

現在私は、特別支援学級の担任として3年生から6年生までの子ども達と共に日々生活を送っています。それぞれが個性的で好きなものや得意なこと、さまざまな特性を持っています。今年度、はじめて特別支援学級の担任となったので、最初はどのようにコミュニケーションを取れば良いのかと悩むこともありましたが、その時に私を助けてくれたのが大学図書館で出会った絵本でした。

私は学生の頃、空いた時間があると大学図書館の方と話をしに行くことが多かったです。その際に「この絵本はここが面白いんだよ」、「この絵本が好きなら同じ著者が書いた本もあるよ」といったことを丁寧に教えて頂き、自然と多くの絵本に触れることが出来ていました。当時読んで印象に残っていたヨシタケシンスケさんの「りんごかもしれない」をみんなの前で読み聞かせをすると、多くの子が楽しんでくれました。また、それを機に「もっと読んで」や「他に面白い絵本ないの」など、子ども達との会話が弾むきっかけにもなりました。

今思い出すと大学図書館で過ごした時間は、楽しみながらたくさんの本に出会う機会を作って下さっていたということに気づきました。今後は、大学図書館で私がしてもらったように、今度は私が子ども達に本の魅力を伝えていきたいです。



勤務先の図書室にて

勤務先での授業中の様子



「りんごかもしれない」

ヨシタケシンスケ/著 ブロンズ新社

とってもユニークで、子どもも大人も思わず「なるほど!」と思ってしまう絵本です。身の回りの「なんでだろう?」を考えるきっかけになります。

図書館に所蔵あります!

市岡さんへ

社会人としてお忙しい中、素敵な文章をご寄稿いただき、本当にありがとうございました。

市岡さんにとって天職ともいえる小学校教諭として、これからも笑顔あふれる毎日を過ごされ、ご活躍されることを、心よりお祈りしております。

図書館スタッフ一同

図書館活用術

資料へのアクセスの仕方 ～検索ツールを使ってみよう！～

図書館司書 青木 彩子



みなさんは資料（図書やDVD、雑誌）をどのように探していますか？

図書館に入って右奥のPCコーナーは図書館が所蔵する資料を検索できる蔵書検索（OPAC）のコーナーです。

検索の仕方は簡単！タイトルや著作者が正確に分からなくてもキーワードを入力すれば、そのキーワードを含む資料を検索してくれます。

蔵書検索で所蔵されていないと分かった資料でも、県内で他に所蔵する図書館を検索できる「横断検索」があります。

ちなみにこれらの検索ツールはスマホでも利用できます。

資料名を入力して検索すると所蔵する図書館が表示され、貸出もしくは閲覧ができます。

「やっぱり使い方がわからない」など、困ったときは気軽に司書に声をかけてください。検索の仕方や棚の案内などみなさんが資料へアクセスするお手伝いをします。

ぜひ、検索ツールを活用して有意義な学習や読書の時間を過ごしてください。



本屋と図書館を使い分ける

図書館司書 橋 ひなの

今更ながらですが、みなさんは図書館と本屋の違いはご存じでしょうか。

図書館と本屋の機能は根本的に大きく違っており、本屋では新刊やトレンドの本を手にとってもらいやすいよう平積みしたりと、工夫して並べられています。

一方、図書館ではあらゆる本を「収集・保存・提供」するための施設です。新しい本だけでなく、何年も前に出版された本や専門書を含め、多くの資料を長く利用できるよう、分類ごとに並べられています。そのため、同じテーマの本が近くに集まっていることから、思いもよらなかった本と出会えるかもしれません。

新刊や手元に置いておきたい本は本屋で購入し、調べもの・気になる本を気軽に読んでみたい時には図書館を利用するなど、それぞれの特徴を活かして使い分けることによって、読書や学びの幅が広がります。みなさんも用途に合わせてぜひ使い分けてみてください。



図書館道具紹介

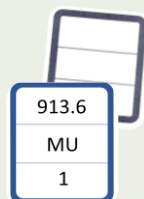
図書館で毎日活躍している道具たち。
普段は目立たないけれど、本や資料を支える大切な存在です。

資料IDバーコードシール



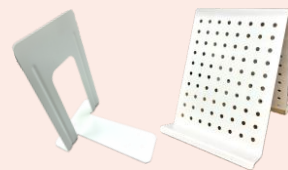
スーパーなどでおなじみのバーコードですが、実は図書館でも活躍中です。水色は図書・視聴覚資料、紺色は雑誌と、ひと目でわかります。

請求記号シール



本にも「住所」があります。背表紙に貼られており、本が迷子にならないようにする、図書館には欠かせないシールです。

ブックエンド&ブックスタンド



本を支える名コンビ！ブックエンドは本が倒れないように支え、書架をきれいに保ちます。ブックスタンドは表紙を見せて展示することで、本の魅力をより伝えています。

ブックトラック



本を一気に「乗せる・運ぶ・並べる」台車。書架と同じ寸法で作られているため、本を棚と同じ並び順に整理しながら運ぶことができます。作業をスムーズにしてくれます。

図書館からのお知らせ

●図書館委員から

短期大学部 ライフデザイン学科 健康福祉コース 講師 山ノ井 勉



「図書館だよりに、原稿を」と依頼され、さて、何を書こうかなと悩んでいました。僕と図書館の思い出は、学生時代に勉強した所。と、言いたいのですが、鮮烈な印象として覚えているのは、東日本大震災の時です。当時福島にいた僕は、震災を経験しました。あの時は、図書館や研究室など全ての本が落ちました。余震等の影響で、また落下するため、しばらく床に並べていました。

一カ月過ぎて、母校の大学に、挨拶に伺いました。お世話になった職員が図書館にいと聞いて、震災時の話を聞きました。同様に蔵書が落下し、危険な状況であったとのことですが、それ以上に、図書館の水道管が破裂し、落下した本が水浸しになったことが残念だと伺いました。その本たちは、中庭に積まれ、もう二度と読めない状態でした。

その時、こんなに読んでいない本があったのだと気づくと同時に、もうこの本を読むことができないと寂しくなりました。この本たちは、どんなに検索してもその内容に触れることができません。インターネットで検索できない知識が本の世界にはあります。図書館は知性の冒険ができる場所です。読んでいない本があるということは、知力の伸びしろを意味します。多くの人が図書館に足を運び、読んでいない本を手にとると、きっと本たちは喜びます。そして、あなたには新しい世界が始まる可能性があるかもしれません。

●本学図書館のSDGs展示活動が掲載されました！

地域・産学連携研究支援委員会発行の『地域教育実践活動記録集 第4号（2025年度）』に、榎本 祐子 准教授の授業「家族援助論」で実施した『SDGsを学ぼう！』特別展示の実践報告「図書館と授業の連携で広がる実践的教育—SDGsのPOP作成と活用」が掲載されました。

『地域教育実践活動記録集』は、本学の教育実践活動の成果をまとめた刊行物です。今回の実践報告では、図書課職員も執筆に携わり、授業と図書館が連携した展示活動の成果や教育効果を紹介しています。今後も先生方との連携を深め、学生の学びを支える図書館づくりに取り組んでまいります。

榎本先生、ありがとうございました！



素敵な機会を
いただき、ありがとうございました！

【夏休み特別貸出】の返却期限について

7/3(金)～9/18(金)の期間中に実施していました
【夏休み特別貸出】の返却期日は以下のとおりです。
忘れずに、期日厳守で返却してください。



返却期限

10月2日(金)



【編集後記】

今回の第18号から、前号までとはデザインを一新しました。一からデザインを自分たちで考えるのは正直大変でしたが、なんとか無事完成させることができました！今後も、図書館や本に親しんでいただけるような情報をわかりやすくお届けしていきたいです。

図書館委員会 事務局

びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 図書館だより (Newton Library LETTER) 第18号

発行 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 図書館

〒527-8533 滋賀県東近江市布施町29 TEL: 0748-35-0007 FAX: 0748-22-8610

e-mail: library@newton.ac.jp URL: <https://www.biwakogakuin.ac.jp/library>

編集 びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部 図書館委員会